

住民意見を反映したバスマップ改良によるコミュニティバス利用意識向上効果

～愛知県東郷町「じゅんかい君」をケーススタディとして～

【発表者】

名城大学大学院理工学研究科建設システム工学専攻松本研究室 石川雄己

愛知県東郷町と巡回バス「じゅんかい君」の紹介

「人とまち みんな元気な 環境都市」を目指して

地理 愛知県西部に位置 豊かな自然に恵まれたまち

人口 42,611人

交通 巡回バス「じゅんかい君」, 民営路線バス 鉄道なし

【運行目的】 住民の足としての交通機関確保をすることにより, 空白地帯の解消, 町内交流の促進及び町内活性化を図るため

【運行時間】 平日7:05~18:40 土日祝8:40~17:15

【運行本数】 西コース6本・北コース9本・南北コース5本

【運賃】 1乗車100円 ※中学生以下・65歳以上など無料



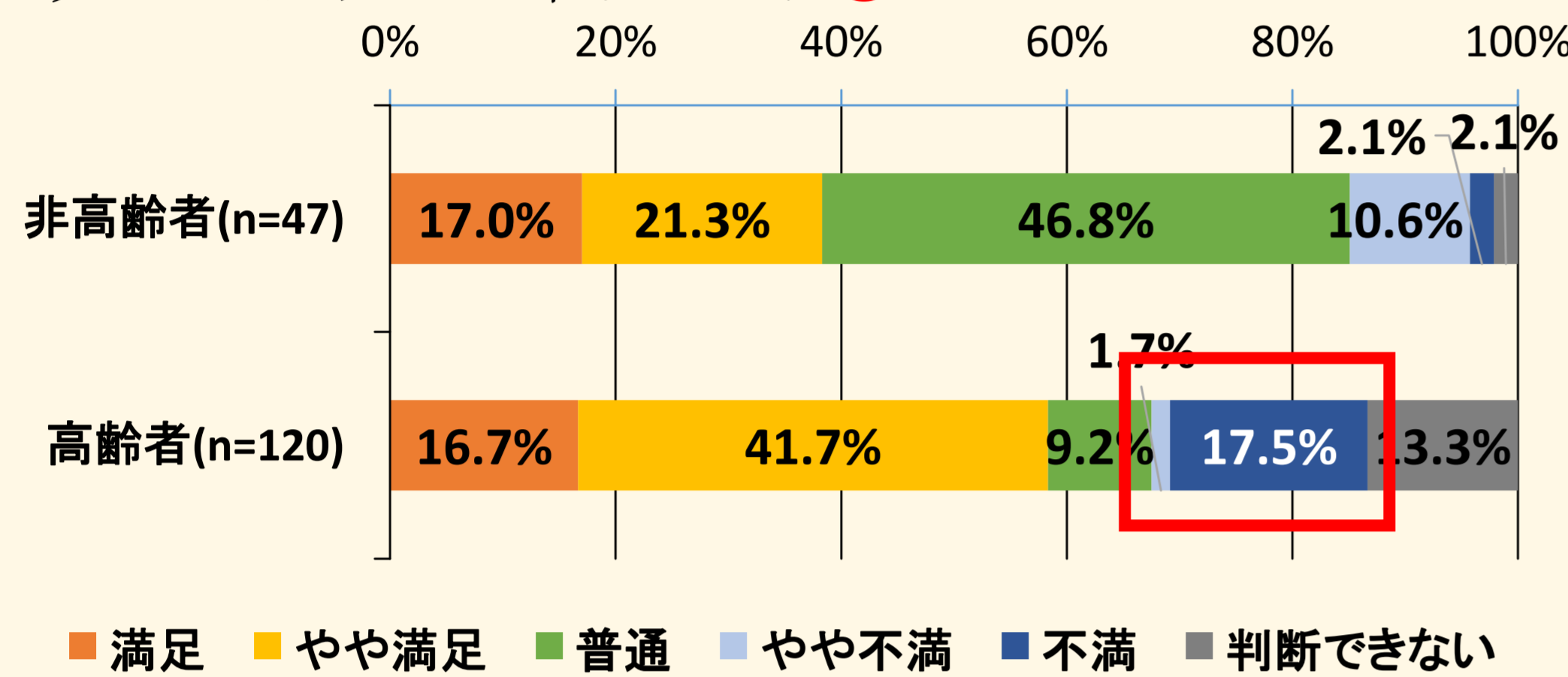
じゅんかい君

研究目的と流れ

コミュニティバスの利用促進策として・・・

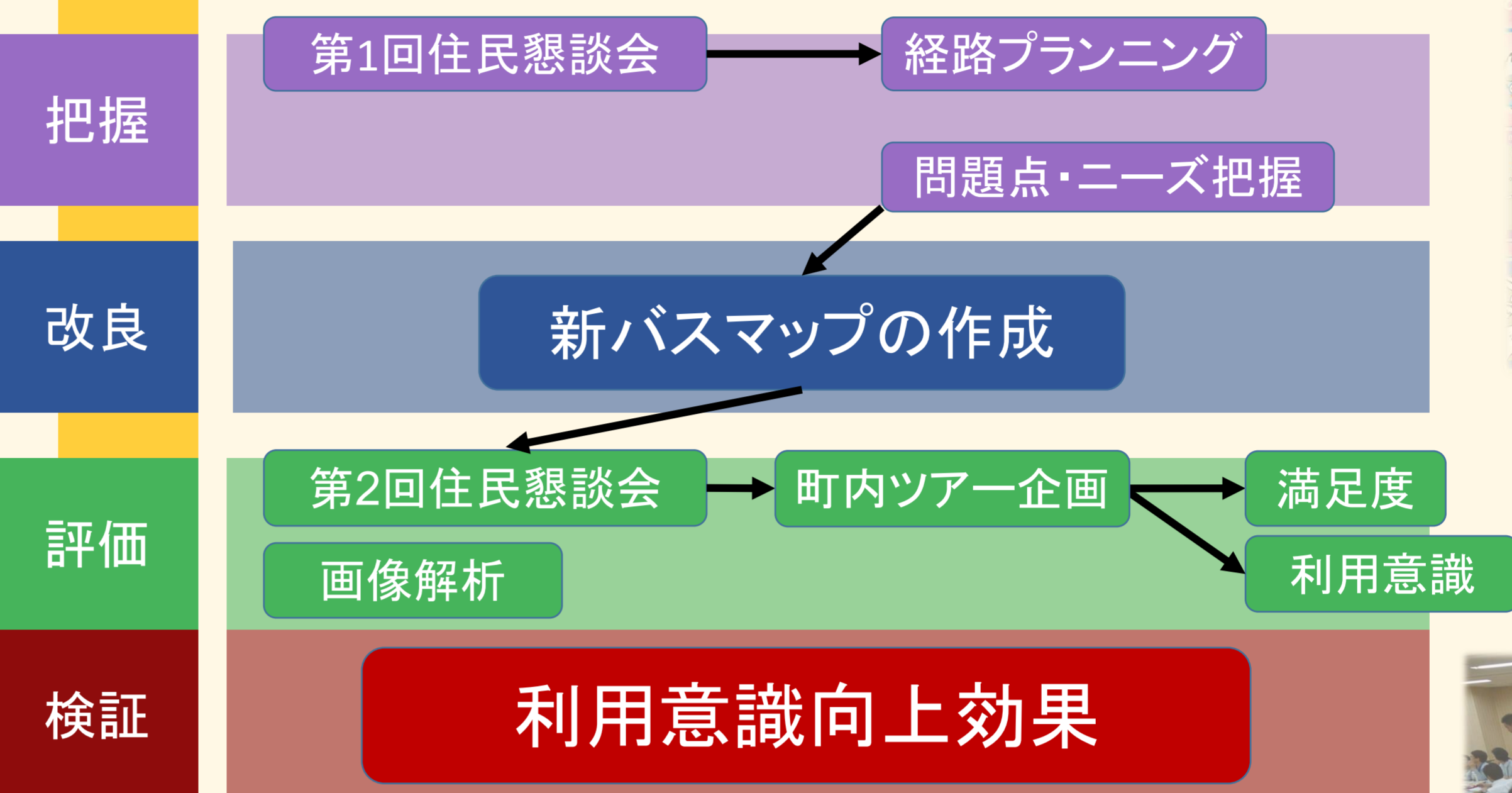
増便・路線変更⇒高コスト×
バスマップ・チラシ⇒低コスト○

バスマップに着目



目的 既存バスマップの満足度

- ▶ じゅんかい君⇒高齢利用者が多い
- ▶ 高齢者に見やすくわかりやすいバスマップ⇒必要!



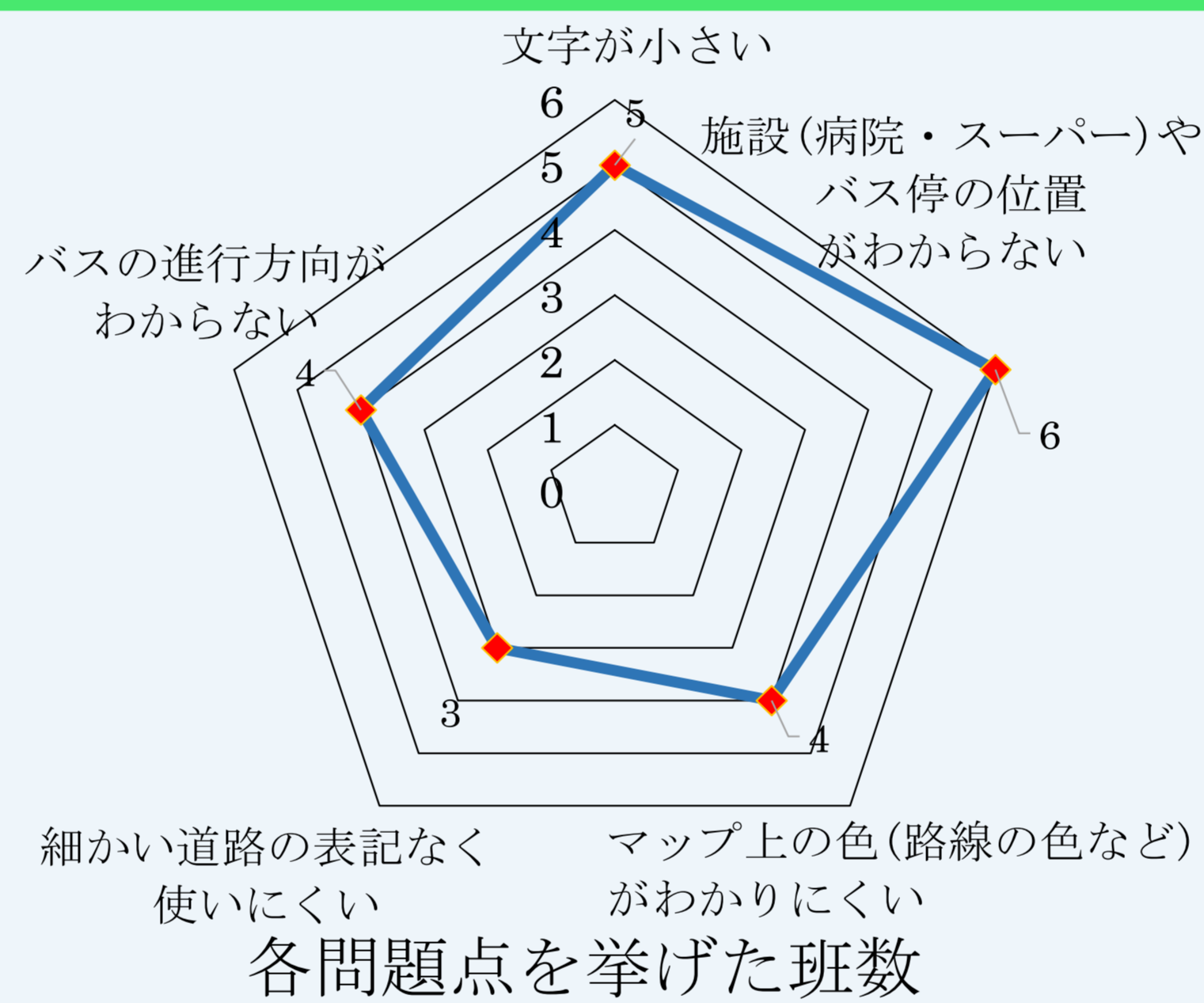
STEP1.第1回住民懇談会の開催

既存バスマップを使用して経路プランニング

実際に使用してもらうことで・・・

- 既存バスマップの問題点
- 住民目線

- ✓問題点が共通
- ✓表記に関する問題点多数 (ex.文字の大きさ)
- ✓見やすさに関する問題点多数 (ex.色使い)



既存バスマップ

STEP2.バスマップの改良

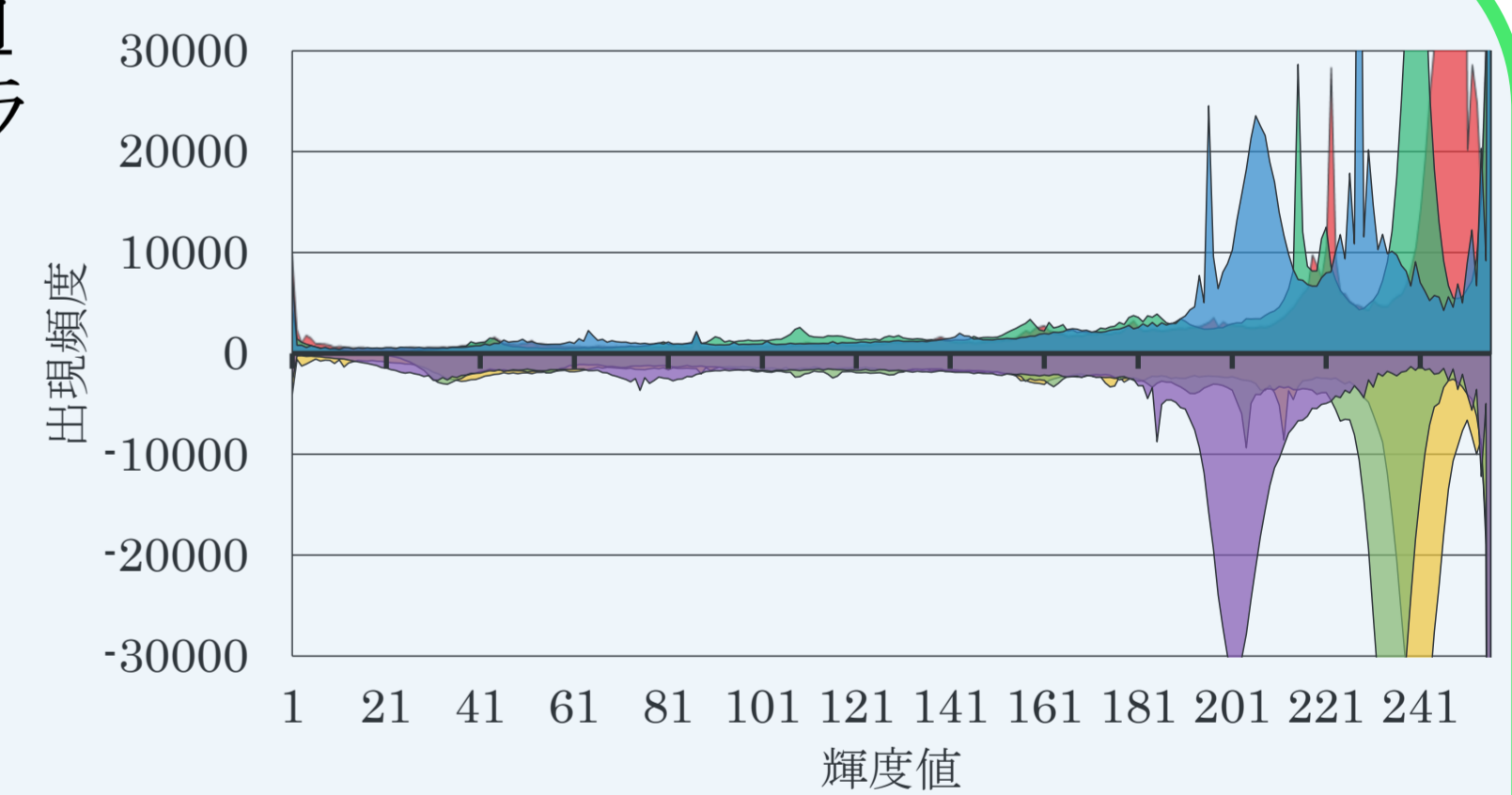
見やすさ・わかりやすさを重視

画像解析による色彩評価
RGB表色系のヒストグラムを作成

- 改良点
- 地図の拡大
 - 詳細な道路図の埋込み
 - バス停をアイコン表示
 - 施設をアイコン表示
 - フォントサイズ大きく
 - バス停をコースごとに色分け
 - 進行方向の表示



- 改良前⇒改良後 低輝度の値が上昇
- コントラスト向上



輝度値ヒストグラム

STEP3.第2回住民懇談会の開催

改良バスマップを使用して町内を巡るツアーを企画

- 満足度評価
- 「じゅんかい君」の活用意欲の確認

- 改良バスマップの満足度
- 各項目で6割以上が満足と回答
 - 文字の大きさや色使いに 関しても満足という声があった

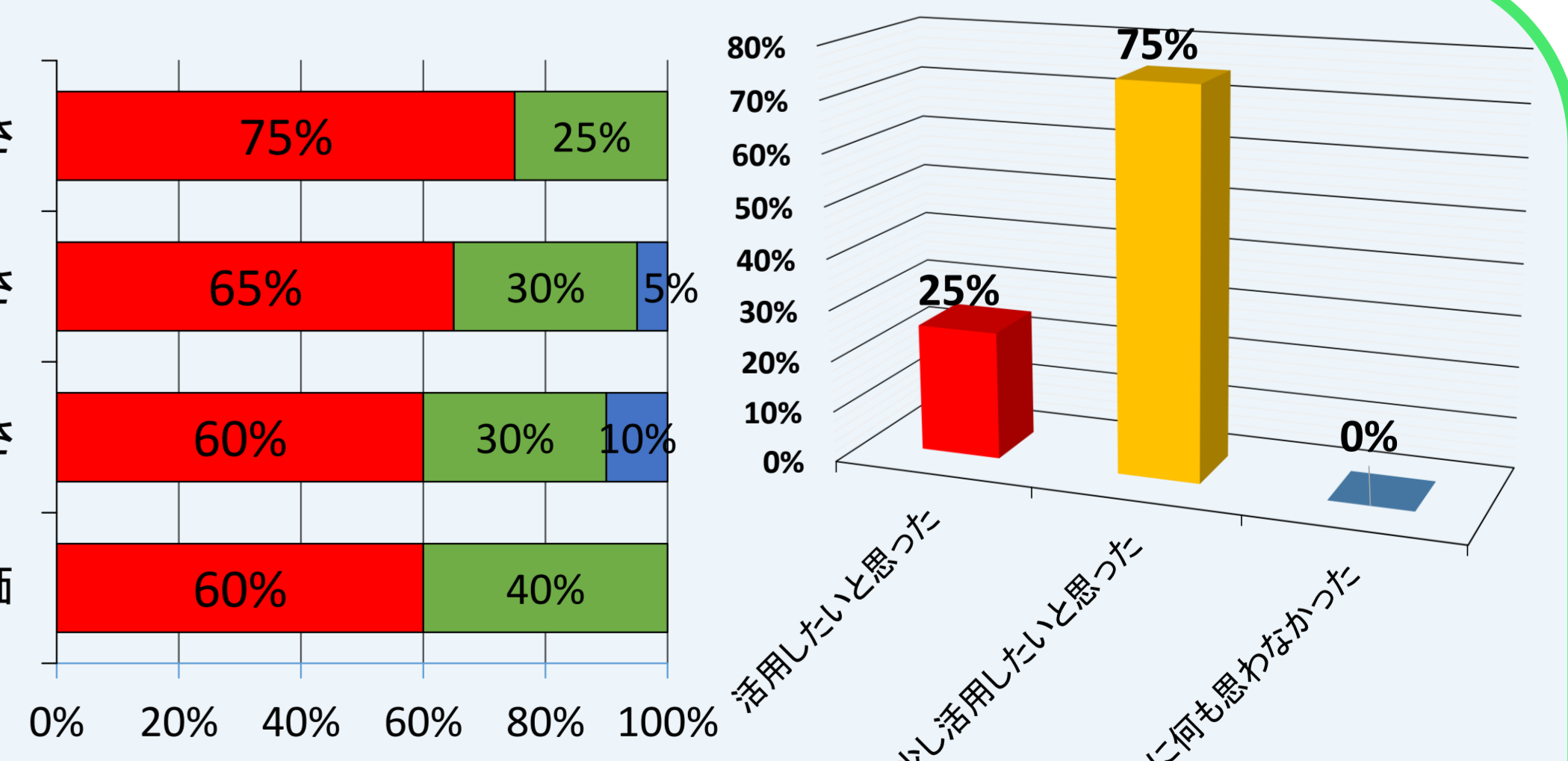
「じゅんかい君」の活用意欲

- 「活用したい」⇒75%
- 「少し活用したい」⇒25%

参加者全員の活用意欲向上



- バス停の位置のわかりやすさ
- 目的地の見つけやすさ
- ルートのわかりやすさ
- 総合評価



改良バスマップの満足度

じゅんかい君の活用意欲

まとめと今後の課題

ニーズを把握・反映 → バスマップの改良

・表記に関する問題点

・高齢者を考慮
・見やすさ, わかりやすさ重視

利用意識向上

今後の課題

- 利用促進策としてのバスマップの効果を検証
- 改良点間の差異を明らかにする
-多くのサンプル
-定量的
- バスマップ改良による利用促進効果の検証

謝辞

本取り組みは東郷町くらし協働課と協同して実施した成果物である。ここに謝意を表す。